

平成 28 年度老人保健健康増進等事業

入退院時におけるケアマネジャーと医療機関等職員との多職種連携を踏まえた ケアマネジメントの質の向上に関する調査研究事業

株式会社日本能率協会総合研究所

(目的)

退院後のケアマネジメントの課題として疾患の再発予防・機能低下予防などが挙げられる。ケアマネジメントの質を向上するためには、ケアマネジャーは、利用者が入院中のときからその状態や病状変化の可能性を踏まえたアセスメントや課題分析を行った上で、ケアプラン原案を作成することが重要である。特に、ケアプランを作成するまでの過程においては、医療機関や在宅医療・介護サービスなどの多職種間で情報を共有し、専門家の視点で適切なアドバイスを得た上で練り上げられたプランを持って在宅に移行することが望ましい。

本調査研究事業では、入退院時における一連のケアマネジメントの質の向上を図るために、ケアマネジャーは入院直後から患者の退院後を見据え、どのようにケアプランを作成すべきか、また、利用者の状態を踏まえたケアプランを作成するために、いつ、どのような情報を収集すべきか等を検討し、標準的な工程作りを行うことを目的に実施した。

(事業概要)

本事業における実施計画は以下の通り。

(1) 専門家・識者による「委員会」「作業部会」の設置と討議の実施

(2) オープン情報とヒアリング(好事例)による現状の把握

WEB上のオープン情報から既存の様式を収集し、入院時～退院までの各タイミングに併せて事務局にて整理・分析を行い現状を把握した。また、第1回委員会にて、好事例の推薦を募り、事務局にて調整を行った結果、協力が得られた医療機関及びその医療機関と普段から連携を行っているケアマネジャーに対するヒアリングを実施し現状を把握した。

(3) ケアマネジャーと医療機関の多職種との連携における理想的な標準工程の検討と

「工程管理表(兼チェックリスト)」の作成

「現状の把握」で明らかになった点を踏まえ、医療機関等の多職種とケアマネジャーの連携や、ケアマネジャーの情報収集の在り方について、各作業部会において討議を行い、理想的な標準工程とチェック項目の内容について検討し、「工程管理表」を作成した。

(4) ケアマネジャーが連携の工程において、必要な情報共有・収集をサポートする

「各種フォーマット(様式類)」の検討と作成

「工程管理表」と併せて、必要な情報共有・収集に関する「各種フォーマット(様式類)」についても検討し、3種の様式を作成した。

(5) 手引きの作成

これら開発ツール(工程管理表/様式類)を活用するための「手引き」についても内容を検討し完成させた。

(6) 報告書の作成

本調査研究事業の成果として、報告書を作成した。本報告書及び本事業で開発した工程管理表を始めとしたツール類が、入退院時における多職種連携を推進するうえでの一助になれば幸いである。